

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関  
国際事務局



(43) 国際公開日  
2004 年 7 月 22 日 (22.07.2004)

PCT

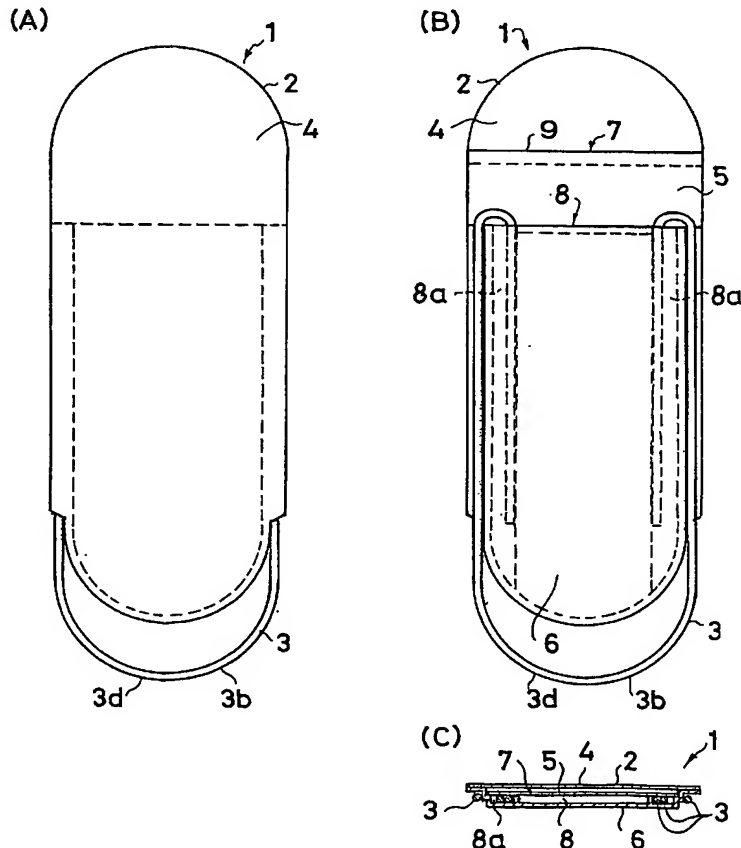
(10) 国際公開番号  
WO 2004/060695 A1

- (51) 国際特許分類: B42F 1/02 (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): エヌエス  
プランニング株式会社 (NS PLANNING INC.) [JP/JP];  
〒170-0005 東京都 豊島区 南大塚 2-2 6-7 Tokyo  
(JP).
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2003/016880
- (22) 国際出願日: 2003 年 12 月 26 日 (26.12.2003)
- (25) 国際出願の言語: 日本語 (72) 発明者; および  
(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 吉田 司  
(YOSHIDA, Tsukasa) [JP/JP]; 〒107-0005 東京都 豊島  
区 南大塚 2-2 6-7 エヌエスプランニング株式会  
社内 Tokyo (JP).
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:  
特願 2002-382244 2002 年 12 月 27 日 (27.12.2002) JP  
特願 2003-324180 2003 年 9 月 17 日 (17.09.2003) JP
- (74) 代理人: 竹内 三郎, 外 (TAKEUCHI, Saburo et al.); 〒  
105-0001 東京都 港区 虎ノ門 2 丁目 6 番 4 号 虎ノ門  
1 1 森ビル 2F 竹内国際特許事務所内 Tokyo (JP).

[続葉有]

(54) Title: CLIP AND ATTACHMENT WITH CLIP USING THE CLIP

(54) 発明の名称: クリップ及びそれを用いたクリップ付き装着具



(57) Abstract: A portable attachment (1) with a clip allowed to be easily fitted to a portable object by integrally holding a specified used-article such as a diverging component-contained material having smell components or medically effective components and the clip, wherein an intermediate material (5) and a rear sheet material (6) are stacked on the rear side of a synthetic resin front sheet material (4) and the peripheral edge portion thereof is sealed to form a front storage part (7) and a rear storage part (8), and the front storage part forming an opening part (9) with a fastener (20) in the upper part thereof and partly having a ventilation part (21) stores the diverging component-contained material so as to be extracted and retrieved and the rear side storage part (8) is formed such that the one end part (3a) thereof for holding to the clip (3) is inserted into clip insert storage parts (8a) separately formed on both sides thereof and the other end part (3b) thereof for holding the clip is formed to have a locking part to an installed part, whereby an objective material according to the purposes thereof can be inserted also into the rear storage part (8).

(57) 要約: 香気成分或いは薬効成分などを具備させた発散成分含有材などの所望用途物とクリップとを一体的に保持させて携帯物に簡単に装着できるクリップ付き携帯装着具を提供する。このクリップ付き携帯装着具 1 は、合成樹脂製の表シート材 4 の裏側に、中シート材 5、裏シート材 6 を積層するとともに周縁部分をシールして、表側収納部 7 と裏側収納部 8 を形成し、表側収納部には上部にファスナー 20 付き開口部 9 を形成し、一部に通気部 21 を設けて、出し入れ可能に発散成分含有材を収納し、

[続葉有]

WO 2004/060695 A1



(81) 指定国 (国内): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

パ特許 (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI 特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

- 国際調査報告書
- 補正書・説明書

(84) 指定国 (広域): ARIPO 特許 (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッ

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

裏側収納部 8 には両側に区画形成したクリップ差込み収納部 8 a にクリップ 3 の挟着一端部 3 a を差込み、クリップの挟着他端部 3 b を被装着部への係止部を有する構成とした。裏側収納部 8 にも用途に応じた目的物を挿入することが可能である。

## 明 細 書

クリップ及びそれを用いたクリップ付き装着具

## 技術分野

本発明は、携帯物などに簡便に装着して使用することができ、特に被服類に装着して使用することができ、かつファイルの背表紙などにも好適に使用することができるクリップ及び多目的クリップ付き装着具に関する。

## 背景技術

従来、香料などの揮発分を含む匂い袋があるが、鎖類で胸に掛けるか、ポケットに入れておくものであり、袋の工夫などがなされている（例えば、特開平 1 1 - 3 2 8 2 2 号公報参照）。

一方、クリップは種々形態のものが開示されているが、いずれも 2 つのものを挟み付けるものとして使用されている。

また、書類を冊子状に束ねるファイルなどの背表紙には、両側端部を接着等により貼り付けた略矩形縦長状の透明合成樹脂シートがあり、背見出し紙等を挿入できるようにしてある。

このようなファイルに背見出し紙等を挿入する方法は、ファイルなどを開いて反転させ、挿入口を開き、そこに背見出し紙等を挿入するものである。この作業は、ファイルなどを反転させなければならないため手間取るものであった。

## 発明の開示

本発明は、上記のような従来の発想とは異なった着眼に立ち、携帯に便利であり、かつ見栄えの良く、特に被服に或いはファイルの背表紙などに簡便に装着できるクリップ及び多目的クリップ付き装着具を提供せんとするものである。

上記課題を解決するために、本発明は、合成樹脂シート材により形成された少なくとも一つの収納部を有し、収納部には目的に応じた用途物を収納し、かつ、挟着部を形成したクリップの挟着一端部を挿着してクリップを具備させ、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部となるクリップ付き装着具を構成させたことを特徴とし、好ましくは、合成樹脂シート材により形成された少なくとも二つの収納部を有し、一方の収納部には目的に対応する用途物を収納し、或いは通気部を形成して揮発成分などの発散成分含有材を収納し、他の収納部には挟着部を形成したクリップの挟着一端部を挿着してクリップを少なくとも具備させ、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部としてクリップ付き装着具を構成させる。

また、本発明は、合成樹脂素材の表シート材裏側に、少なくとも二重に合成樹脂シート材を積層するとともに、開口部を残して周縁部分をシールして収納部を形成し、表シート材側の収納部は出し入れ可能な目的に対応する用途物の収納部とし、或いは通気部を保って開口部を閉止可能として揮発成分などの発散成分含有材を収納し、裏側の収納部は装着部とし、少なくともここに挟着部を形成したクリップの挟着一端部を差込み、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部としてクリップ付き装着具を構成させたことも特徴とする。

上記における二つの収納部の内、裏側の収納部は、裏側収納部の両側にクリップ差込み収納部を形成したものとし、若しくは、両側部に位置したクリップ差込み収納部として形成したものとすることができる。好ましくは、収納部にデータ送受信可能なＩＣチップを収納したものとす

る。

これらクリップ付き装着具に用いるクリップとしては、線材を略Ｕ字形又は略コの字形に折曲して挟着一端部を形成し、その上端を外折れさせて略Ｕ字形又は略コの字形の外側に平行となるように折曲して挟着他端部を形成し、該挟着他端部の幅をファイルの背表紙の幅以下としたクリップや、線材を略Ｕ字形又は略コの字形に折曲して挟着一端部又は挟

着他端部を形成し、その上端を内折れ又は外折れさせて略U字形又は略コの字形の内側又は外側に平行となるように折曲して挟着他端部又は挟着一端部を形成し、内折れ又は外折れさせた一方の挟着一端部又は挟着他端部の下端部の位置を、他方の挟着一端部又は挟着他端部の下端部の位置よりも上方に形成したクリップや、線材を略U字形又は略コの字形に折曲して挟着一端部を形成し、その上端を内折れ又は外折れさせて略U字形又は略コの字形の内側又は外側に平行となるように折曲し、その両端部を線材の直径より厚さのある挟持具により連結させて挟着他端部を形成したクリップや、データ送受信可能なICチップを挟着一端部に具備させたクリップなどがある。

本発明によれば、用途物として、例えば植物、化粧品、医薬品などの香気成分或いは薬効成分などを具備させた揮発成分その他の発散成分の含有材、その他の所望用途物とクリップとを一体的に保持させた携帯装着具を提供することができ、これをポケットなどに着脱自在に止着して携帯することができ、所望の香気や薬効などを発散させることができる。装着は被服などに限らず、サイフや名刺入れ、本、その他を対象とすることができ、葉などとして挟着することもできる。特にファイルの背表紙などに用いるのが好適である。所望用途物は例えば、名札、通行証、ICチップ内蔵の非接触型データ送受信シート、その他任意でよい。表シート材の表側には装飾を表すことができ、また、シート状の液晶表示やLED表示などを具備させることにより、名前などを表示して名札の如き表示効果を奏させることもできる。

#### 図面の簡単な説明

図1は、本発明の一例の携帯装着具を示し、(A)はその表面図、(B)は裏面図、(C)は横断面図である。

図2は、図1の収納体を示し、(A)はその裏面図、(B)は側面図、(C)は横断面図、(D)は裏シート材の端部を示す部分断面図である。

図3は、図1のクリップの正面図である。

図 4 は、本発明の携帯装着具の他の一例の裏面図である。

図 5 は、図 4 の携帯装着具の概略側断面図である。

図 6 ～ 8 は、本発明の携帯装着具の収納体の一例を示した裏面図である。

図 9 は、挟着他端部の先端部に合成樹脂材を融着させた本発明の携帯装着具のクリップの一例を示した正面図であり、(A) はチューブ状に形成、(B) は球状に形成したものである。

図 10 は、一方の挟着一端部の下端部の位置を他方の挟着一端部の下端部の位置よりも上方に位置させた本発明の携帯装着具のクリップの一例を示した正面図である。

図 11 は、ファイルの背表紙などに装着しやすくした本発明の携帯装着具のクリップの一例を示した正面図である。

図 12 の (A) は、被装着部に強く挟持する構成とした本発明の携帯装着具のクリップの一例を示した正面図、(B) は (A) の拡大側面図である。

図 13 は、図 12 のクリップの変形例を示した正面図である。

図 14 (A) ～ (C) は、本発明の携帯装着具の使用例を示した概略斜視図又は正面図である。

図 15 は、図 1 の携帯装着具の異なる一例の裏面図である。

図 16 は、IC チップ内蔵の例を示す形態の裏面図である。

#### 発明を実施するための最良の形態

図面を用いて本発明の一例の実施形態を説明する。

図 1 は一例としての本発明のクリップ付き装着具を示しており、図 2 はその収納体、図 3 はクリップを示している。符号 1 はクリップ付き装着具、2 は収納体、3 はクリップである。

収納体 2 は、装飾或いは名札などの用途に合う大きさに象った合成樹脂乃至透明合成樹脂素材の表シート材 4 を形成し、この裏面に中シート材 5、裏シート材 6 の二枚の合成樹脂素材を積層し、開口部を除いて周

縁部分を熱融着、接着剤などによりシールして、表側収納部 7、裏側収納部 8 を形成してなる。この際、裏側収納部 8 の両側に、クリップの挟着一端部 3 a を差込み可能なクリップ差込み収納部 8 a が区画されるように、予め中シート材 5 と裏シート材 6 の両側端から適宜間隔をおいた内側位置を両側端に沿ってシールして形成してなる。

各シート材は、平坦シート材の積層でもよく、図 1 (C) のように、裏シート材 6 を圧空真空成形などの熱成形により或いは射出成形によって、周縁部を表方向に若干立ち上げて立体化させた受け形ケース状として形成し、この表側に中シート材 5、表シート材 4 を張設するようにして形成することができる。

このケース状の裏シート材 6 は、上縁を除く表側周縁部に、若干の段差を持たせた二段の段部 6 a、6 a を設け、両側端の裏側縁部に外側に露出したクリップ 3 の垂直部 3 c が当接可能な収まり部 6 b を形成したものとすることができる。中段の段部 6 a に中シート材 5 の縁部をシールし、表側の段部 6 a に表シート材 4 の縁部をシールすればよい。

中シート材 5 の上端は、表シート材 4 と同高以下の高さとし、図では適度に低く設定し、その上縁沿いに表シート材 4 との間をシールしない開口部 9 とし、表側収納部 7 内に収納した収納物の発散成分が外方に発散可能としてある。

裏シート材 6 の上端は、上記中シート材 5 の開口部 9 と同位置乃至は下位置に設定し、その上縁沿いはシールしない開口部としてある。

図 4 又は図 5 には、収納体 2 の他の一例が記載されている。

この収納体 2 は、中シート材 5 の上端の高さを、表シート材 4 及び裏シート材 6 よりも高く形成し、開口部を除いて周縁部分を熱融着、接着剤などによりシールし、表側収納部 7、裏側収納部 8 を形成してなるものである。

表側収納部 7 に名札などのカード 10 等を挿入し、裏側収納部 8 にクリップ 3 の挟着一端部 3 a を差込むことにより名札などとして使用することができる。

さらに、収納体 2 は、図 6 に示すように、表側収納部 7 及び裏側収納部 8 を縦長状に形成することや、図 7 に示すように、中シート材 5 の上端を上方に延設した上端片 11 を形成することや、図 8 に示すように、前記上端片 11 の面上に円形状の孔 12 を形成した形状にすることができる。

図示しないが、一の収納部を有する収納体 2 としてもよい。この場合、中シート材 5 を使用せず、表シート材 4 及び裏シート材 6 を、開口部を除いて周縁部分を熱融着、接着剤などによりシールし、一の収納部を形成したものを収納体 2 とすることができる。

クリップ 3 は、図 1 ～図 3 に示すように、クリップ差込み収納部 8 a 内に挿入する挟着一端部 3 a と、収納部外側に露出して被装着部への挟着部となる挟着他端部 3 b とを、該他端部 3 b の内側に挟着一端部 3 a が位置するように鋼線材を折曲して形成し、両端部に対する表裏方向への適度（指先での加圧力程度）な加圧に対して復元力が作用するものとして形成してなっている。

図 3 では、鋼線材を折曲して U 字形を形成するとともに、その上端を内折れさせて U 字形の内側に平行させて形成し、或いは図示しないが、抜けやすさ防止のために端部をさらに内側に折返し沿わせて挟着一端部 3 a を形成し、或いはまた、この一端部を内方にさらに小 U 字形状に折曲し形成して、両端部で内外方向に挟着できるように形成し、この内側の挟着一端部 3 a をクリップ差込み収納部 8 a 内に差込んだ状態において、外側の挟着他端部 3 b の垂直部 3 c は上記裏シート材 6 の収まり部 6 b 内に収まり、U 字形状の下端部 3 d が裏シート材 6 の下方に突出して配設されるように形成してある。挟着一端部 3 a の面上にプレス加工などで傷を付けて抜けにくくしてもよい。

なお、クリップは合成樹脂製でもよく、その場合、一端部は板面状であってもよく、また、上記折曲形状は図示以外の適宜形状とすることができる。

図 1 ～図 3 のクリップ付き装着具 1 は、クリップ 3 の挟着一端部 3 a



をクリップ差込み収納部 8 内に装入して形成するものであるが、クリップ 3 の挟着一端部 3 a を中シート材 5 又は裏シート材 6 に高周波又は熱などにより融着して形成してもよい。

図 9 ～図 13 には、クリップ 3 の他の一例が記載されている。

図 9 (A) に記載のクリップ 3 は、挟着一端部 3 a の下端部にチューブ状のビニールなどの合成樹脂材 13 を熱などにより融着して形成したものである。また、同図 (B) に記載のクリップ 3 は、球状のビニールなどの合成樹脂材 14 を熱などにより融着して形成したものである。これにより、抜けやすさの防止を図ることができ、さらに、挟着一端部 3 a の先端で物を傷つけることがない。

図 10 に記載のクリップ 3 は、一方の挟着一端部 15 の下端部 15 a の位置を他方の挟着一端部 16 の下端部 16 a の位置よりも上方に形成したものである。これにより、収納体 2 へ取り付ける際、まず、他方の挟着他端部 16 を収納体 2 に挿入させ、次に、一方の挟着他端部 15 を収納体 2 に挿入することができ、挿入作業が容易となる。どちらの挟着一端部 15, 16 の下端部 15 a, 16 a を上方に位置させてもよい。

また、図 10 に示す挟着一端部 3 a を挟着他端部 3 b とし、挟着他端部 3 b を挟着一端部 3 a とすることもでき、このようにすれば被装着部に挟着するのが容易となる。

図 11 に記載のクリップ 3 は、線材を折曲して略 U 字形を形成して挟着一端部 3 a を形成するとともに、その上端を外折れさせて略 U 字形の外側に平行させて挟着他端部 3 b を形成してあり、或いは図示しないが、抜けやすさ防止のために端部をさらに内側に折返して沿わせたり、或いはまた、この他端部を内方にさらに略 U 字形状に折曲して形成したりすることができる。挟着他端部 3 b の下端部に、図 9 で示したように、ビニールなどの合成樹脂材を熱などにより融着して形成してもよい。

このクリップ 3 の挟着他端部 3 b の幅を、書類などを冊子状に束ねるファイルの背表紙などの幅以下の幅で、好ましくは背表紙の幅に合わせて形成する。これにより、クリップ 3 をファイルなどの背表紙に装着す

ることができ、背表紙の幅に合わせて形成すれば折り目に沿わせて装着でき、位置がずれることなく装着できる。また、挟着一端部 3 a は、背表紙面上に位置するので確実に挟持することができる。

図 1 2 に記載のクリップ 3 は、線材を U 字形に形成して挟着一端部 3 a とし、その上端を内折れさせて略 U 字形の内側に平行となるように形成し、その両端部を下方半円形状の挟持具 1 7 により連結させて挟着他端部 3 b としたクリップ 3 である。挟持具 1 7 の厚さは、線材の直径よりも若干厚く形成されている。挟持具 1 7 は、合成樹脂を射出成形することにより線材と一体に形成することができる。挟持具 1 7 は、これに限定されるものではなく、両端部を挟持し、連結できるものであり、かつ、線径より厚みがあればよい。この両端部を挟持可能とした挟持具 1 7 を別体として形成して連結することもできる。

このクリップ 3 は、挟持具 1 7 の厚さが線材の直径よりも厚く形成されているので、被装着部 1 8 に装着した際、挟着他端部 3 b が若干外方に反り、被装着部 1 8 を強く挟持して、外れにくくなる。

さらに、挟持具 1 7 の表面（装着物を挟着する面）上に微小な凹凸を設け、ザラ付かせて形成すれば滑り止めとなり、より外れにくくなる。

また、図 1 3 に示すように、線材を略 U 字形に形成して挟着一端部 3 a とし、その上端を外折れさせて略 U 字形の外側に平行となるように形成し、その両端部を下方半円形状の挟持具 1 7 により連結させて挟着他端部 3 b としたクリップ 3 としてもよい。このように挟着一端部 3 a よりも挟着他端部 3 b を長く形成してもよく、挟持具 1 7 の厚さを線材の直径よりも厚く形成しておけば、上記図 1 2 で示したクリップと同様の作用がある。

上記に示したクリップ 3 は、いずれも単独でクリップとして使用することが可能である。

表側収納部 7 には、所望の香気を発散する香気成分、或いは虫除け成分や皮膚保護成分、睡眠防止成分などを発散する薬効成分などを含浸或いは混入するなどしてなる揮発成分、その他の発散成分含有材を収納し、

好ましくはシート状とした発散成分含有材を収納しておくことができ、目的に適応した成分を収納したものを着用することができる。

裏側収納部 8 にも同様な物を、例えば予備などとして、収納しておくことができ、クリップ差込み収納部 8 a にはクリップ 3 の挟着一端部 3 a を差し込んで止着してあり、挟着他端部 3 b を例えばポケットの口部内側に引っ掛けつつ、裏シート材 6 の下部を裏側から表方向に指先などで軽く押圧し、そのままポケット内に押し込めば、本携帯装着具 1 はポケットに簡単に片手で装着される。その他への着用も同様である。

なお、表シート材 4 の表面には、所望の装飾を表すことができるが、透明材として形成した場合は、表側収納部 7 内に氏名などの表示片や通行証などを挿入し、或いは透明であるか否かを問わず、シート状の上記発散成分含有材に I C チップを装着するか、I C チップを具備させた非接触型データ送受信シートなどを収納して表示具として機能させることができる。

表シート材 4 の表面に、シート状の液晶表示又は L E D 表示などを具備させ、氏名などを表示することもできる。

収納部 7 乃至 8 への収納は目的に応じることにより、多目的に適用可能である。例えば、図 1 4 (A) に示すように、所望の香気を発散する香気成分を収納しておけば、香りの出る葉として使用でき、図 1 4 (B) に示すように、紙類 1 9 等を束ねて装着し、表側収納部 7 に紙類 1 9 等の内容を記載したカードを収納しておけば保管に便利である。また、図 1 4 (C) に示すように、ファイルの背表紙などに取り付け、表側収納部 7 内に見出し等を記載したカードを挿入することもできる。ファイルなどの内容を記録したデータ送受信可能な I C チップを挿入しておけばファイルなどの管理が容易となる。

図 1 5 は図 1 の実施例と異なる実施例であり、表側収納部 7 とクリップ差込み収納部 8 a とが異なるものとなっている。

開口部 9 には、中シート材 5 の上縁に平行して、中シート材表側面と表シート材裏面に互いに係合離脱可能な凹凸条ファスナー 2 0 を形成す

ることにより、両シート材 4, 5 間に止着可能な開口部 9 を形成し、さらに、ファスナー 20 の左右端の下側に、若干高さに亘って中シート材 5 と表シート材 4 とをシールしない状態の通気間隙を形成し、内部に収納した収納物の発散成分が外方に発散可能な通気部 21 としてある。通気部 21 は通気可能であれば他の任意構成でよく、他の部位に形成してもよい。また、通気部は開口部の形成に代えて、表シート材 4 を通気性素材で形成したものとすることもできる。

裏シート材 6 の上端は、上記中シート材 5 の通気部 21 の下位置でシール部分が合う高さに設定するのが好ましく、上縁は開口した状態としておいてよい。

また、図 15 のように、両側のクリップ差込み収納部 8a を区画形成せず、裏側収納部 8 を形成しておいて、この内部両側にクリップ 3 の一端部 3a を差込むようにすることもできる。

さらに、盗難防止、通行チェック、確認などのために使用される IC チップ内蔵の非接触型データ送受信装置（例えばシート状）22 を表裏側収納部 7、8 いずれかに収納することができるが、図 16 に示すように、上記送受信装置をクリップ一端部 3a に固着させて、クリップをアンテナ兼用とさせ、裏側収納部 8 内に収納しておくこともできる。

## 請 求 の 範 囲

1. 合成樹脂シート材により形成された少なくとも一つの収納部を有し、収納部には目的に応じた用途物を収納し、かつ、挟着部を形成したクリップの挟着一端部を挿着してクリップを具備させ、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部としてなるクリップ付き装着具。
2. 合成樹脂シート材により形成された少なくとも二つの収納部を有し、一方の収納部には目的に応じた用途物を収納し、他の収納部には挟着部を形成したクリップの挟着一端部を挿着してクリップを少なくとも具備させ、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部としてなるクリップ付き装着具。
3. 合成樹脂シート材により形成された少なくとも二つの収納部を有し、一方の収納部には通気部を形成して揮発成分などの発散成分含有材を収納し、他の収納部には挟着部を形成したクリップの挟着一端部を挿着してクリップを少なくとも具備させ、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部としてなるクリップ付き装着具。
4. 合成樹脂素材の表シート材裏側に、少なくとも二重に合成樹脂シート材を積層するとともに、開口部を残して周縁部分をシールして収納部を形成し、表シート材側の収納部は出し入れ可能な目的に応じた用途物の収納部とし、裏側の収納部は装着部とし、少なくともここに挟着部を形成したクリップの挟着一端部を差込み、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部としてなるクリップ付き装着具。
5. 合成樹脂素材の表シート材裏側に、少なくとも二重に合成樹脂シート材を積層するとともに、開口部を残して周縁部分をシールして収納部を形成し、表シート材側の収納部は、通気部を残して開口部を閉止可能として揮発成分などの発散成分含有材を収納し、少なくとも裏側の収納部に挟着部を形成したクリップの挟着一端部を差込み、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部としてなるクリップ付き装着具。
6. 二つの収納部の内、裏側の収納部は、裏側収納部の両側にクリップ

差込み収納部を形成し、若しくは、両側部に位置したクリップ差込み収納部として形成してなる請求項 2 ～ 5 のいずれかに記載のクリップ付き装着具。

7. 収納部にデータ送受信可能な IC チップを収納した請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載のクリップ付き装着具。

8. 線材を略 U 字形又は略 コ の字形に折曲して挟着一端部を形成し、その上端を外折れさせて略 U 字形又は略 コ の字形の外側に平行となるように折曲して挟着他端部を形成し、該挟着他端部の幅をファイルの背表紙の幅以下としたクリップ。

9. 線材を略 U 字形又は略 コ の字形に折曲して挟着一端部又は挟着他端部を形成し、その上端を内折れ又は外折れさせて略 U 字形又は略 コ の字形の内側又は外側に平行となるように折曲して挟着他端部又は挟着一端部を形成し、内折れ又は外折れさせた一方の挟着一端部又は挟着他端部の下端部の位置を、他方の挟着一端部又は挟着他端部の下端部の位置よりも上方に形成したクリップ。

10. 線材を略 U 字形又は略 コ の字形に折曲して挟着一端部を形成し、その上端を内折れ又は外折れさせて略 U 字形又は略 コ の字形の内側又は外側に平行となるように折曲し、その両端部を線材の直径より厚さのある挟持具により連結させて挟着他端部を形成したクリップ。

11. データ送受信可能な IC チップを挟着一端部に具備させたクリップ。

12. 請求項 8 ～ 11 のいずれかに記載のクリップを用いた請求項 1 ～ 7 のいずれかに記載のクリップ付き装着具。

補正書の請求の範囲【2004年4月22日（22.04.04）国際事務局受理：出願当初の請求の範囲1－8は補正された；出願当初の請求の範囲9－12は取り下げられた。（2頁）】

1.（補正後）合成樹脂シート材により形成され、開口部を残して周縁部分をシールした少なくとも一つの収納部を有し、収納部には目的に応じた用途物を収納し、かつ、線材を折曲して略U字形を形成するとともに、その上端を内折れ又は外折れさせて略U字形の内側又は外側に平行させて形成したクリップの挟着一端部を装着してクリップを具備させ、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部とし、係止部と収納部側とで被装着部を挟持するようにしてなるクリップ付き装着具。

2.（補正後）収納部は、その両側にクリップ差込み収納部を形成し、若しくは、両側部に位置したクリップ差込み収納部として形成してなる請求項1に記載のクリップ付き装着具。

3.（補正後）合成樹脂シート材により形成され、開口部を残して周縁部分をシールした少なくとも二つの収納部を有し、一方の収納部には目的に応じた用途物を収納し、他の収納部には線材を折曲して略U字形を形成するとともに、その上端を内折れ又は外折れさせて略U字形の内側又は外側に平行させて形成したクリップの挟着一端部を挿着してクリップを少なくとも具備させ、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部とし、係止部と収納部側とで被装着部を挟持するようにしてなるクリップ付き装着具。

4.（補正後）合成樹脂シート材により形成され、開口部を残して周縁部分をシールした少なくとも二つの収納部を有し、一方の収納部には通気部を形成して揮発成分などの発散成分含有材を収納し、他の収納部には線材を折曲して略U字形を形成するとともに、その上端を内折れ又は外折れさせて略U字形の内側又は外側に平行させて形成したクリップの挟着一端部を挿着してクリップを少なくとも具備させ、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部とし、係止部と収納部側とで被装着部を挟持するようにしてなるクリップ付き装着具。

5.（補正後）合成樹脂素材の表シート材裏側に、少なくとも二重に合

成樹脂シート材を積層するとともに、開口部を残して周縁部分をシールして収納部を形成し、表シート材側の収納部は出し入れ可能な目的に応じた用途物の収納部とし、裏側の収納部は装着部とし、少なくともここに線材を折曲して略U字形を形成するとともに、その上端を内折れ又は外折れさせて略U字形の内側又は外側に平行させて形成したクリップの挟着一端部を差込み、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部とし、係止部と収納部側とで被装着部を挟持するようにしてなるクリップ付き装着具。

6. (補正後) 合成樹脂素材の表シート材裏側に、少なくとも二重に合成樹脂シート材を積層するとともに、開口部を残して周縁部分をシールして収納部を形成し、表シート材側の収納部は、通気部を残して開口部を閉止可能として揮発成分などの発散成分含有材を収納し、少なくとも裏側の収納部に線材を折曲して略U字形を形成するとともに、その上端を内折れ又は外折れさせて略U字形の内側又は外側に平行させて形成したクリップの挟着一端部を差込み、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部とし、係止部と収納部側とで被装着部を挟持するようにしてなるクリップ付き装着具。

7. (補正後) 二つの収納部の内、裏側の収納部は、裏側収納部の両側にクリップ差込み収納部を形成し、若しくは、両側部に位置したクリップ差込み収納部として形成してなる請求項3～6のいずれかに記載のクリップ付き装着具。

8. (補正後) 収納部にデータ送受信可能なICチップを収納した請求項1～7のいずれかに記載のクリップ付き装着具。

9. (削除)

10. (削除)

11. (削除)

12. (削除)



## 条約第 19 条 (1) に基づく説明書

請求の範囲第 1 ～ 8 項の発明は、開口部を残して周縁部分をシールした収納部を有し、線材を折曲して略 U 字形を形成するとともに、その上端を内折れ又は外折れさせて略 U 字形の内側又は外側に平行させて形成したクリップを具備させたクリップ付き装着具であることを明確にした。

これにより、袋状の収納部に種々のものを収納して被装着部へ装着でき、またシート状の収納部側とクリップの挟着他端部で被装着部を挟持するので、強く挟持でき外れにくいという効果を有するものである。

本補正は、当初明細書の第 4 頁第 29 行～第 5 頁第 5 行、第 6 頁第 16 行～第 19 行、第 7 頁第 20 行～第 22 行、第 10 頁第 11 行～13 行などの記載を根拠としているものであり、出願時の開示の範囲を超えるものではない。

請求の範囲第 9 ～ 12 項は削除した。

Fig.1

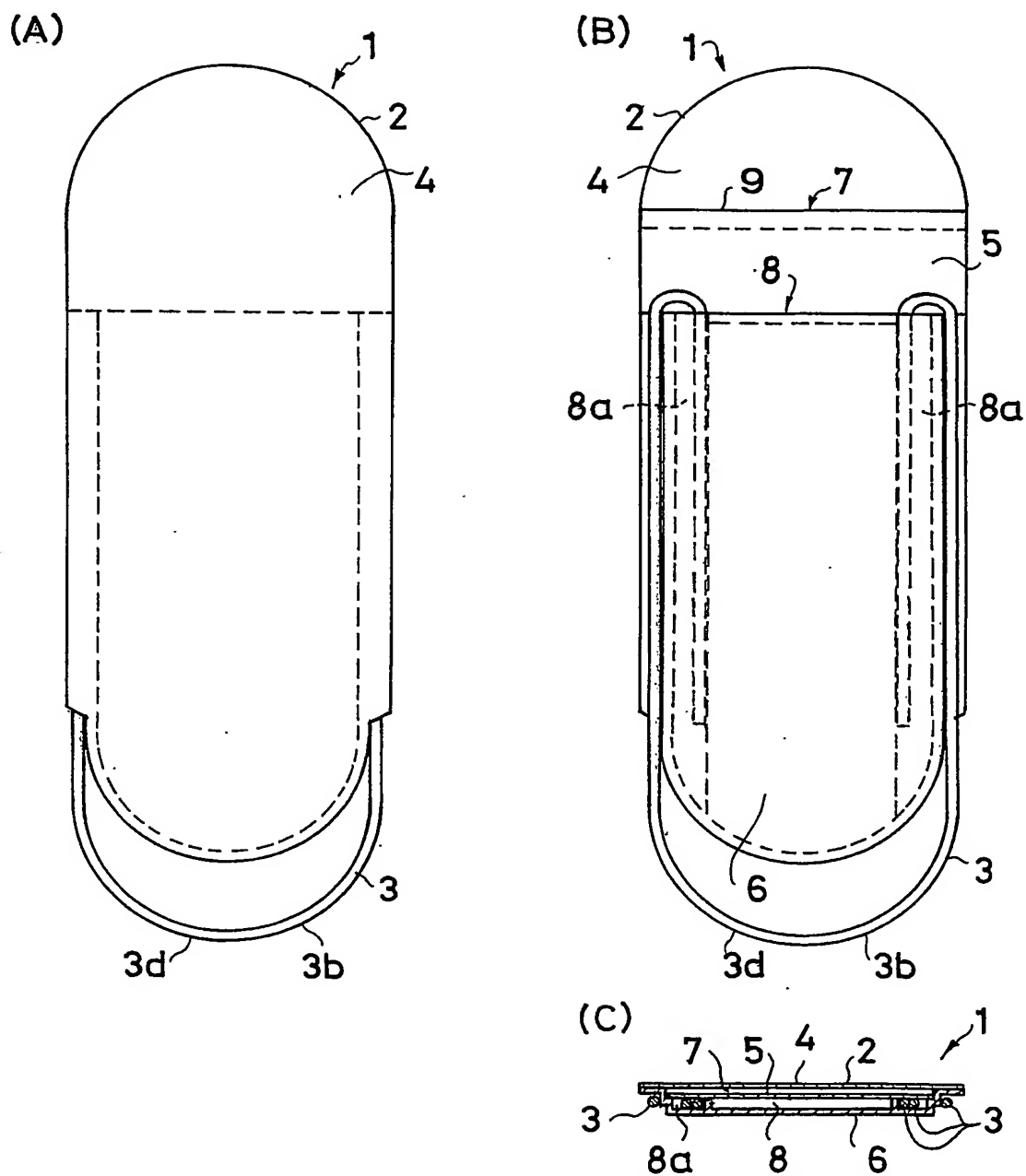


Fig.2

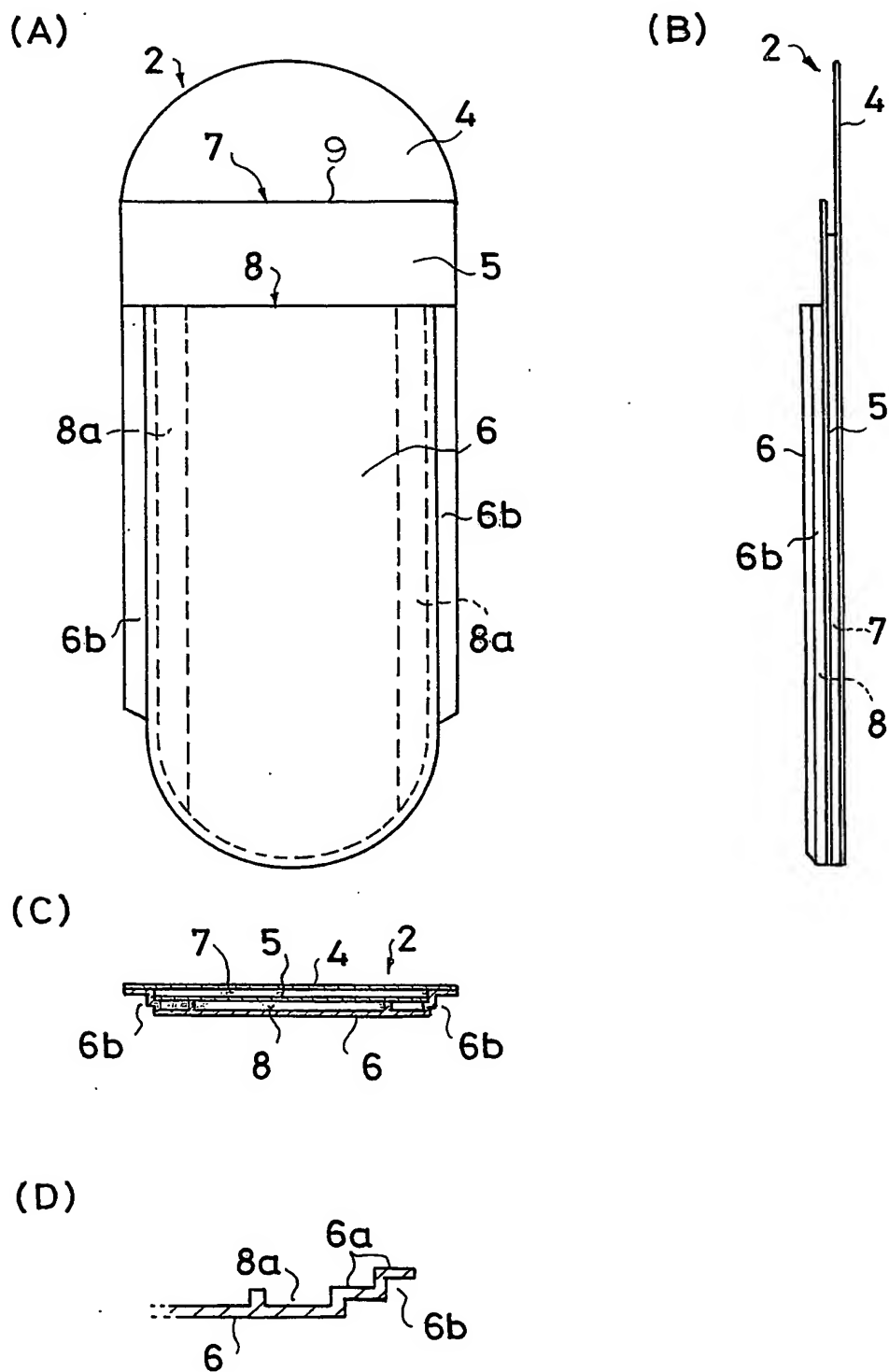
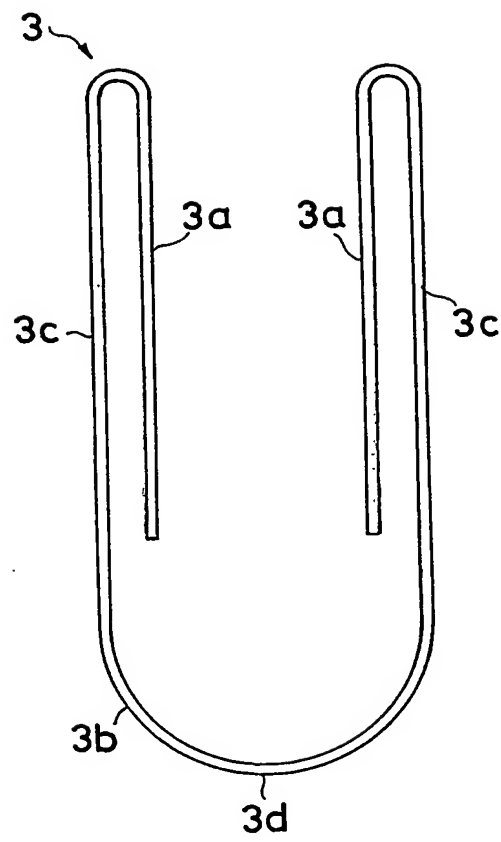


Fig.3



4 / 1 2

Fig.4

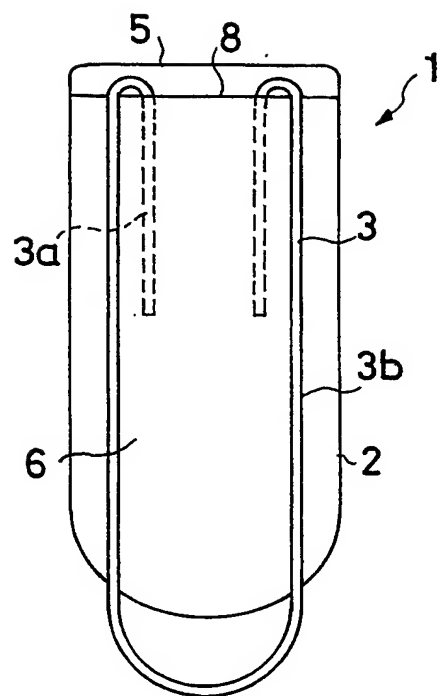


Fig.5

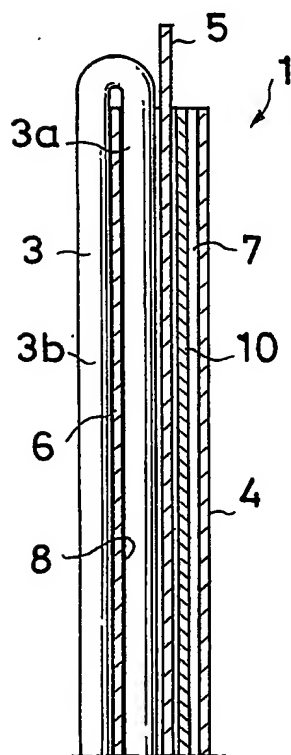
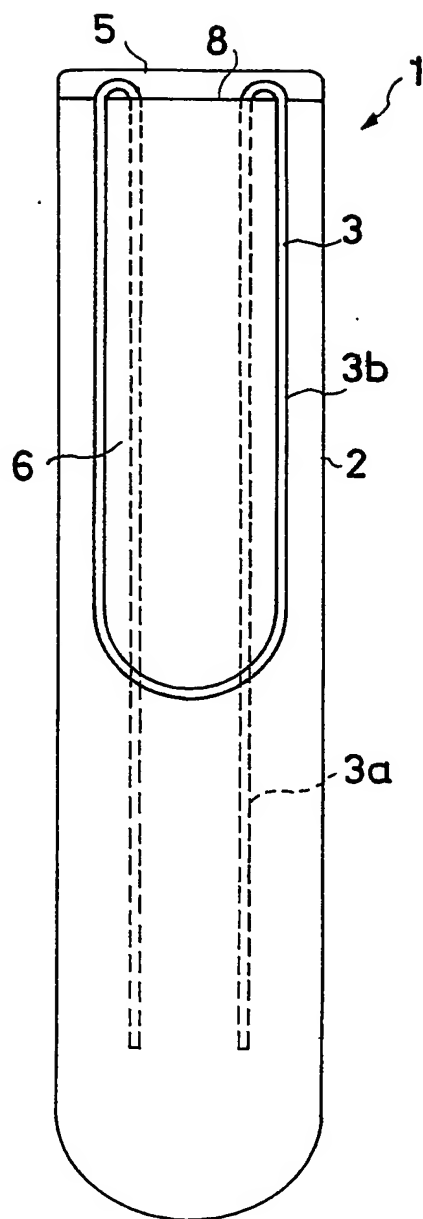


Fig.6



6 / 1 2

Fig.7

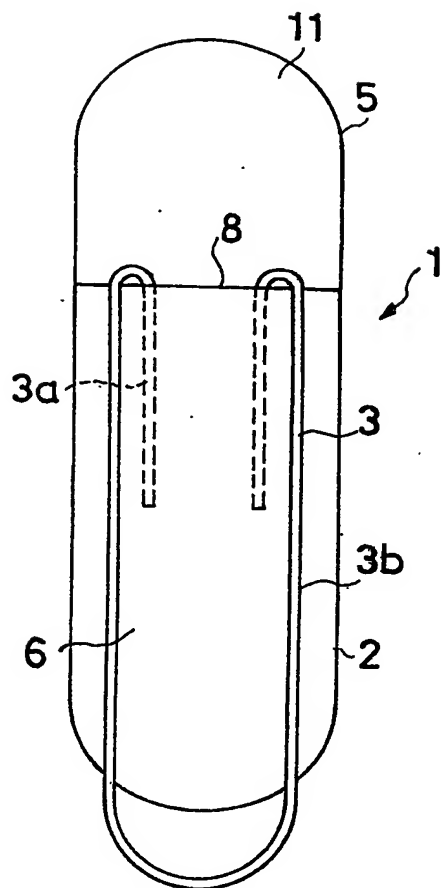


Fig.8

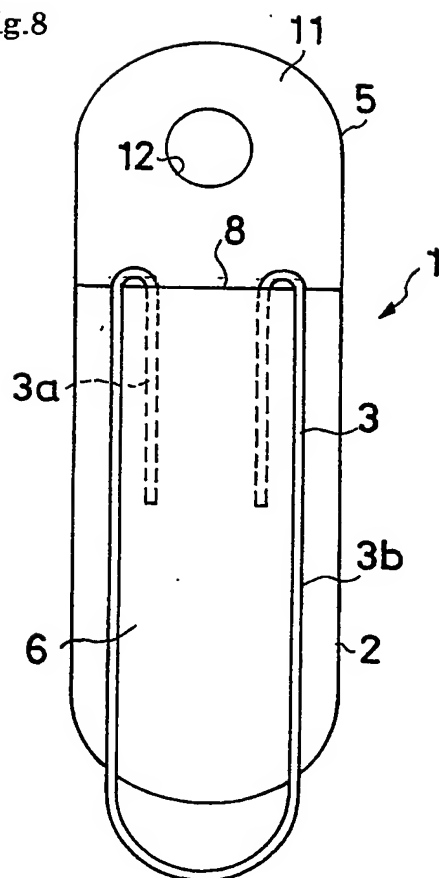


Fig.9

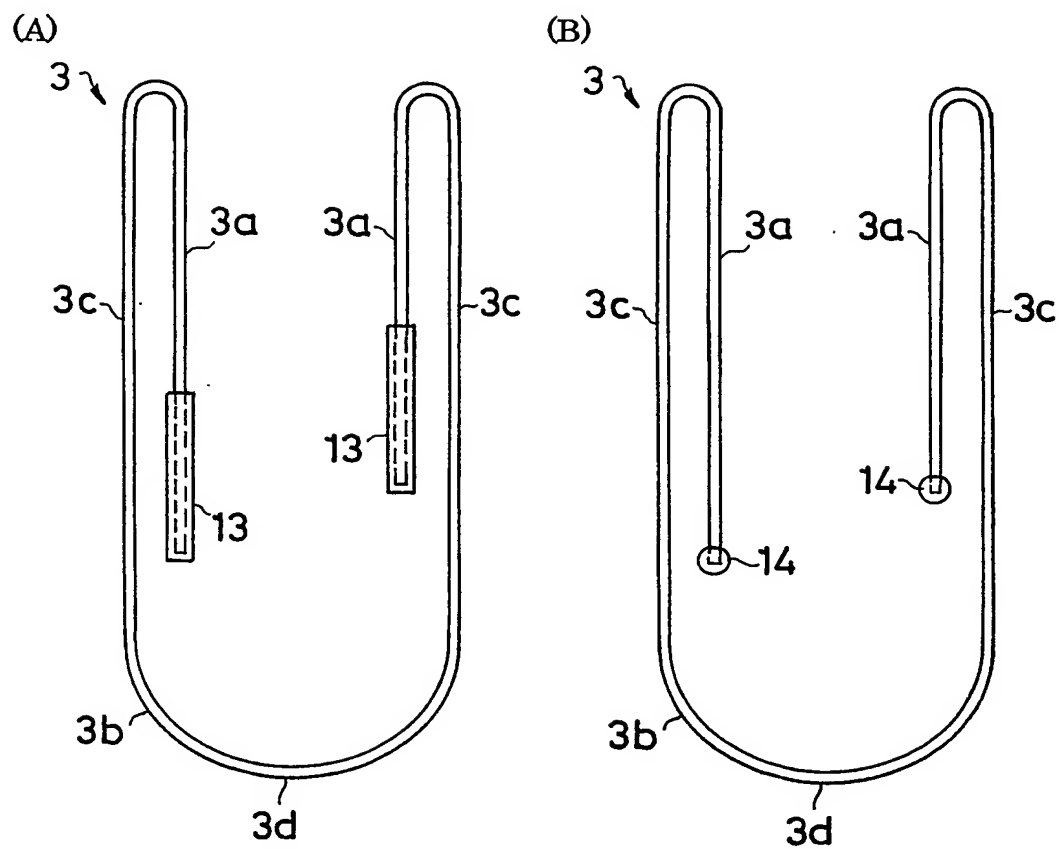


Fig.10

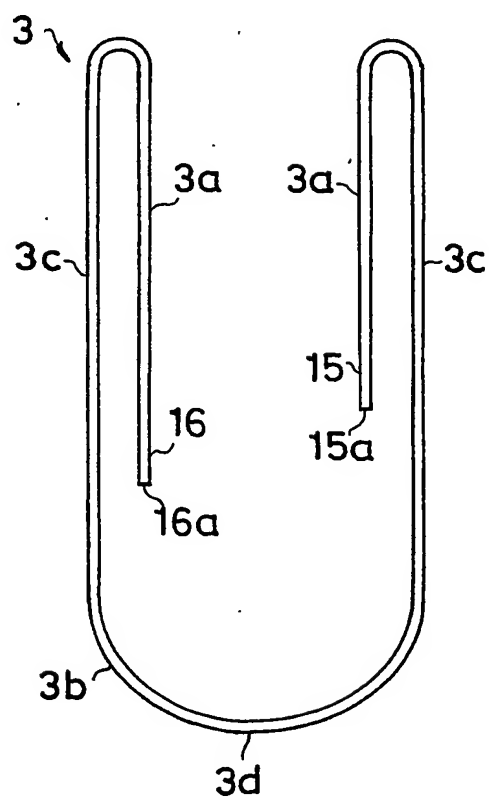
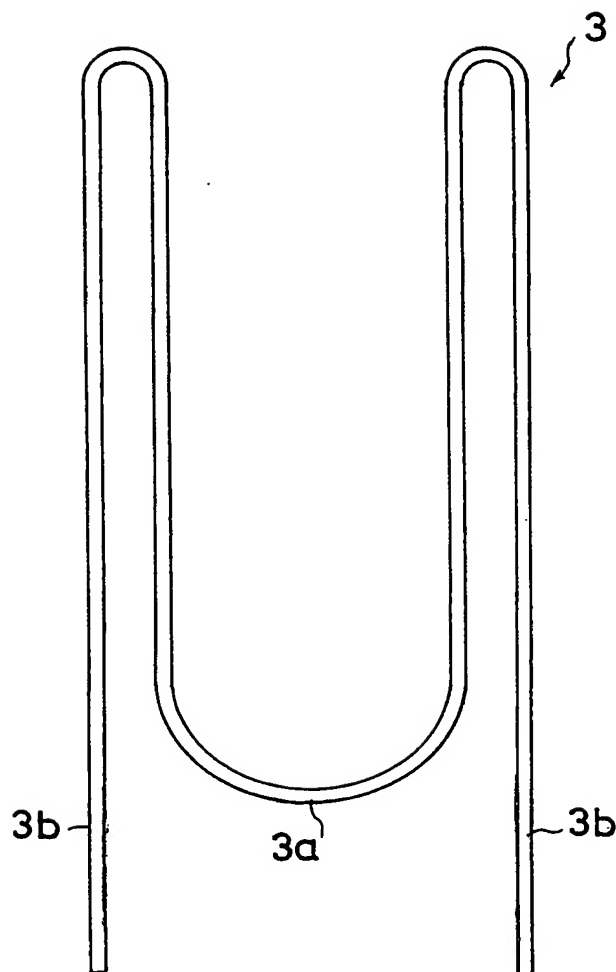




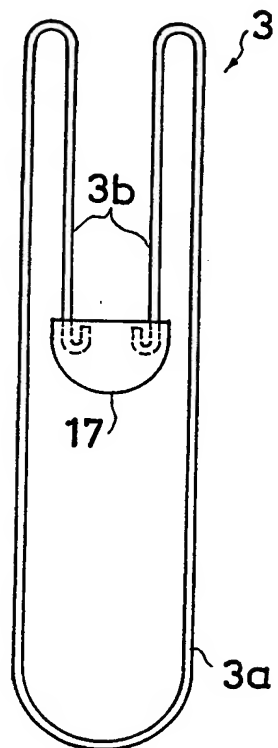
Fig.11



9 / 1 2

Fig.12

(A)



(B)

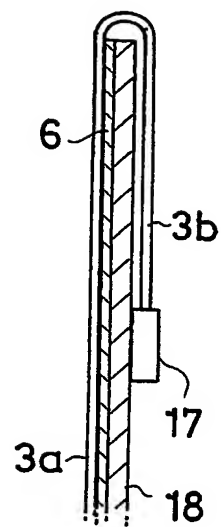


Fig.13

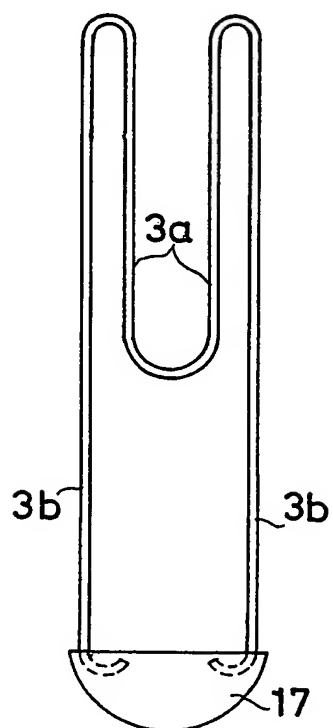
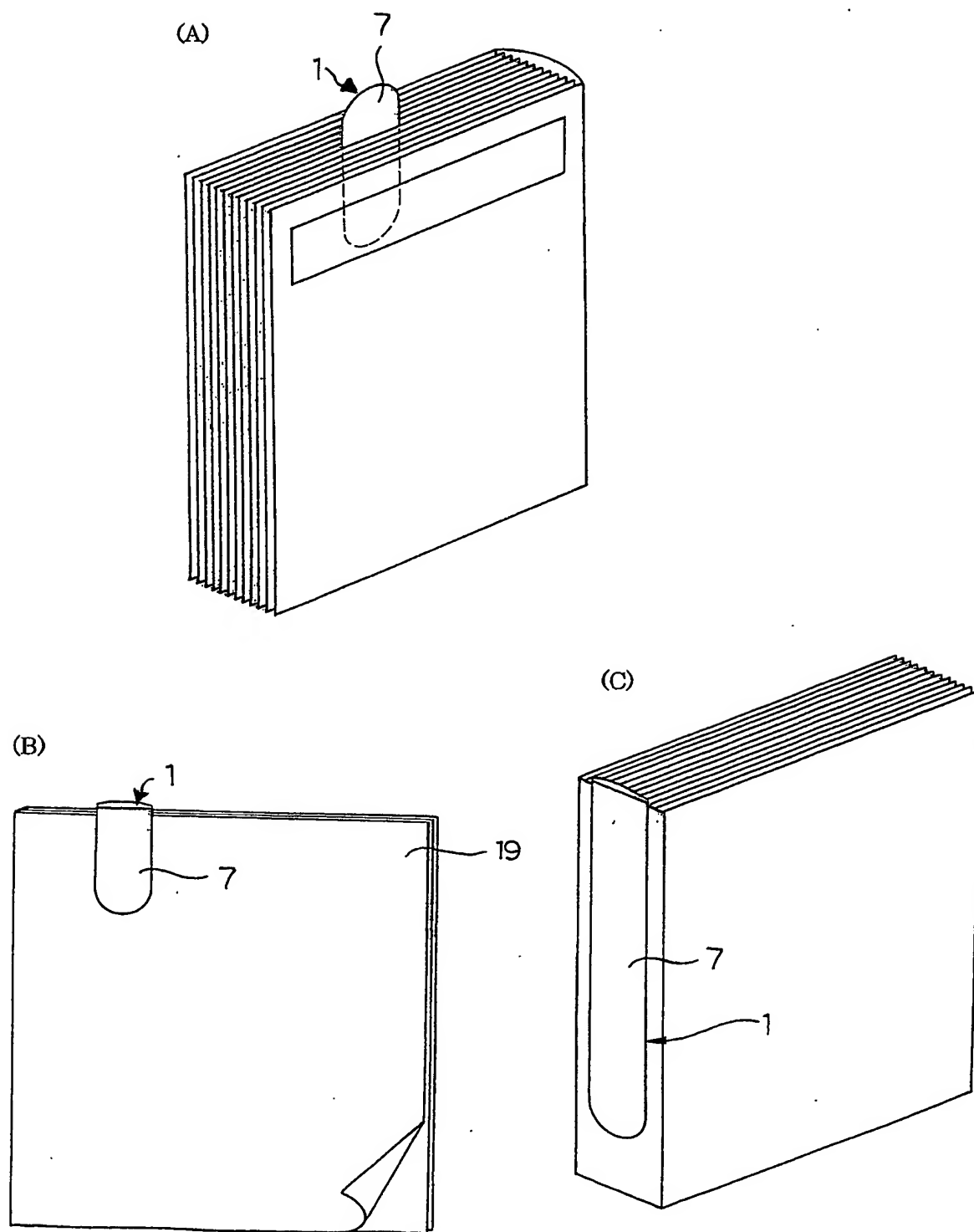


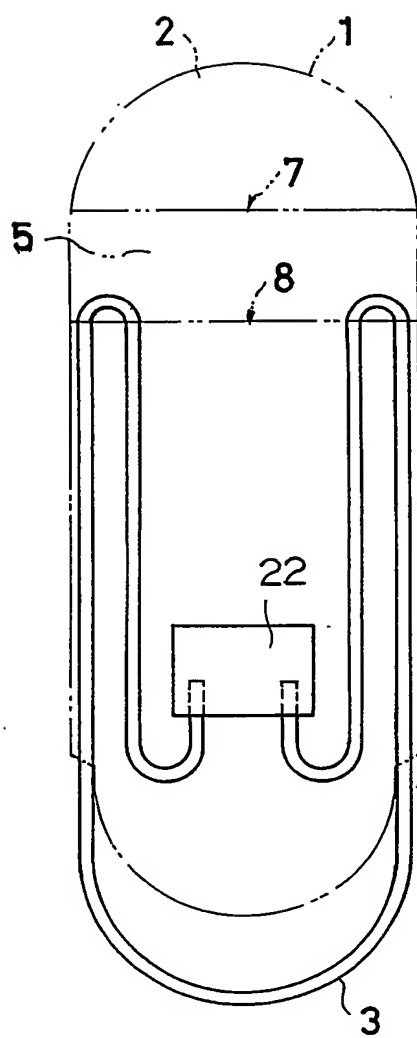
Fig.14





12/12

Fig.16



# INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International Application No.

PCT/JP03/16880

## A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl<sup>7</sup> B42F1/02

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

## B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl<sup>7</sup> B42F1/02, G06K19/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2004
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2004	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2004

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

## C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X Y	US 4384417 A (Edward W. Thompson), 24 May, 1983 (24.05.83), Full text; all drawings (Family: none)	1, 2 3-7, 12
X	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 85547/1973 (Laid-open No. 32011/1975) (Yoshihiro YAMAGUCHI), 08 April, 1975 (08.04.75), Full text; all drawings (Family: none)	1

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance	"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"E" earlier document but published on or after the international filing date	"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)	"&" document member of the same patent family
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means	
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	

Date of the actual completion of the international search  
23 February, 2004 (23.02.04)

Date of mailing of the international search report  
09 March, 2004 (09.03.04)

Name and mailing address of the ISA/  
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

# INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International Application No.

PCT/JP03/16880

## C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	CD-ROM of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 62474/1992 (Laid-open No. 7486/1993 (Keizo MIYAMOTO), 02 February, 1993 (02.02.93), Full text; all drawings (Family: none)	3
Y	US 1914671 A (Joseph A. O'Neil), 20 June, 1933 (20.06.33), Full text; all drawings (Family: none)	4-7
Y	JP 2002-140669 A (Lintec Corp.), 17 May, 2002 (17.05.02), Full text; all drawings (Family: none)	7,11,12
X Y	JP 28-7905 Y1 (Hikoichi KAWANA), 20 August, 1953 (20.08.53), Full text; all drawings (Family: none)	8 9,11,12
X Y	JP 50-6422 Y1 (Eguchi Bussan Kabushiki Kaisha), 24 February, 1975 (24.02.75), Full text; all drawings (Family: none)	10 9,11,12

# INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International Application No.  
PCT/JP03/16880

## Box I Observations where certain claims were found unsearchable (Continuation of item 2 of first sheet)

This international search report has not been established in respect of certain claims under Article 17(2)(a) for the following reasons:

1. ☐ Claims Nos.:  
because they relate to subject matter not required to be searched by this Authority, namely:
  
2. ☐ Claims Nos.:  
because they relate to parts of the international application that do not comply with the prescribed requirements to such an extent that no meaningful international search can be carried out, specifically:
  
3. ☐ Claims Nos.:  
because they are dependent claims and are not drafted in accordance with the second and third sentences of Rule 6.4(a).

## Box II Observations where unity of invention is lacking (Continuation of item 3 of first sheet)

This International Searching Authority found multiple inventions in this international application, as follows:

A common matter pertaining to Claims 1-7 and 12 is an "attachment with a clip in which storage parts are formed of a synthetic resin sheet material" and, therefore, these claims are considered to be a group of inventions so linked as to form a single general inventive concept.

Whereas, since Claims 8-11 relate to the clip, Claims 1-7 and 12 and Claims 8-11 are not considered to be a group of inventions so linked as to form a single general inventive concept. Also, since the "clip" which is a common matter among Claims 8-11 is not a special technical feature, it is clear that Claims 8-11 do not fulfill the requirement of unity of invention.

1. ☐ As all required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers all searchable claims.
  
2. ☒ As all searchable claims could be searched without effort justifying an additional fee, this Authority did not invite payment of any additional fee.
  
3. ☐ As only some of the required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers only those claims for which fees were paid, specifically claims Nos.:
  
4. ☐ No required additional search fees were timely paid by the applicant. Consequently, this international search report is restricted to the invention first mentioned in the claims; it is covered by claims Nos.:

Remark on Protest ☐ The additional search fees were accompanied by the applicant's protest.  
☐ No protest accompanied the payment of additional search fees.



## A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl<sup>7</sup> B42F 1/02

## B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl<sup>7</sup> B42F 1/02  
G06K 19/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2004年
日本国登録実用新案公報	1994-2004年
日本国実用新案登録公報	1996-2004年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

## C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X Y	US 4384417 A (Edward W. Thompson) 1983. 05. 24, 全文、全図 (ファミリーなし)	1, 2 3-7, 12
X	日本国実用新案登録出願48-85547号 (日本国実用新案登録 出願公開50-32011号) の願書に添付した明細書及び図面の 内容を撮影したマイクロフィルム (山口芳宏) 1975. 04. 08, 全文、全図 (ファミリーなし)	1

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

## \* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの  
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの  
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)  
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献  
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの  
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの  
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの  
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

23. 02. 2004

国際調査報告の発送日

09. 3. 2004

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/J P)  
郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

赤木 啓二

2 T

8202

電話番号 03-3581-1101 内線 3264

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	日本国実用新案登録出願 3-62474 号 (日本国実用新案登録出願公開 5-7486 号) の願書に添付した明細書及び図面の内容を記録した CD-ROM (宮本敬三) 1993. 02. 02, 全文、全図 (ファミリーなし)	3
Y	US 1914671 A (Joseph A. O'Neil) 1933. 06. 20, 全文、全図 (ファミリーなし)	4-7
Y	JP 2002-140669 A (リンクテック株式会社) 2002. 05. 17, 全文、全図 (ファミリーなし)	7, 11, 12
X Y	JP 28-7905 Y1 (川名彦一) 1953. 08. 20, 全文、全図 (ファミリーなし)	8 9, 11, 12
X Y	JP 50-6422 Y1 (江口物産株式会社) 1975. 02. 24, 全文、全図 (ファミリーなし)	10 9, 11, 12

## 第I欄 請求の範囲の一部の調査ができないときの意見 (第1ページの2の続き)

法第8条第3項 (PCT 17条(2)(a)) の規定により、この国際調査報告は次の理由により請求の範囲の一部について作成しなかった。

1. ☐ 請求の範囲 \_\_\_\_\_ は、この国際調査機関が調査をすることを要しない対象に係るものである。つまり、
2. ☐ 請求の範囲 \_\_\_\_\_ は、有意義な国際調査をすることができる程度まで所定の要件を満たしていない国際出願の部分に係るものである。つまり、
3. ☐ 請求の範囲 \_\_\_\_\_ は、従属請求の範囲であってPCT規則6.4(a)の第2文及び第3文の規定に従って記載されていない。

## 第II欄 発明の単一性が欠如しているときの意見 (第1ページの3の続き)

次に述べるようにこの国際出願に二以上の発明があるとこの国際調査機関は認めた。

請求の範囲1-7及び12に共通の事項は、「合成樹脂シート材により収納部を形成した、クリップ付き装着具」であるから、単一の一般的発明概念を形成するように連関している一群の発明と認められる。

一方、請求の範囲8-11はクリップに関するものであり、請求の範囲1-7及び12と請求の範囲8-11とは単一の一般的発明概念を形成するように連関している一群の発明とは認められない。さらに、請求の範囲8-11に共通の事項である「クリップ」は特別な技術的特徴ではないから、請求の範囲8-11は発明の単一性を満たしていないことは明らかである。

1. ☐ 出願人が必要な追加調査手数料をすべて期間内に納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求の範囲について作成した。
2. ☒ 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追加調査手数料の納付を求めなかった。
3. ☐ 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったため、この国際調査報告は、手数料の納付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。
4. ☐ 出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったため、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。

## 追加調査手数料の異議の申立てに関する注意

- ☐ 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがあった。
- ☐ 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがなかった。